

平成30年12月20日

三木市議会  
議長 内藤博史様

総務文教常任委員会  
委員長 板東聖悟

### 行政視察報告書

下記のとおり委員会行政視察を実施いたしましたので、会議規則第107条の規定により報告します。

#### 記

#### 1. 参加者

板東聖悟（委員長）、吉田克典（副委員長）、泉 雄太、堀 元子、古田寛明、  
中尾司郎、穂積豊彦、内藤博史  
（委員外議員）初田 稔、大西秀樹、大眉 均、草間 透、岸本和也、松原久美子  
計14名

#### 2. 視察内容等

日 時		場 所	内容及び対応者
10月18日	13:45 ～ 14:30	市立星陽中学校	授業参観、意見交換 (対応者) 市立星陽中学校校長 計倉哲也
	14:45 ～ 16:20	市立志染中学校	授業参観、意見交換 (対応者) 市立志染中学校校長 山本学道

#### 3. 所感

##### (1) 授業について

- ・きめ細やかで丁寧な指導が行われている。
- ・音楽の授業等で少人数ゆえに出来ないことがあるのではないか。

##### (2) 部活動について

- ・団体競技から個人競技の部へ切り替えたり、他校との合同部活動に取り組むなど工夫が見られる。

- ・部活動の種類が限定されることへの懸念がある。
- (3) 通学方法について
- ・学校統廃合にあたっては、通学方法を十分検討する必要がある。
- (4) 生徒・保護者・地域について
- ・保護者と地域住民の間で小規模校に対する思いが異なっていることに留意すべき。
  - ・学校統廃合にあたっては、地域の周知と理解を深めることが大事である。
  - ・地域と一緒に取り組んできた菊づくり等の伝統をどう引き継ぐかが課題である。
  - ・学校統廃合の議論に、生徒の保護者の意見は聞いているが、当事者（生徒）がどのように考えているのか、意見が反映されていない。
- (5) その他
- ・生徒が少ないため少し寂しく感じた。
  - ・意見や話し合いが限定的になり、コミュニケーション力が心配である。
  - ・兵庫教育大学附属中学校に進学する星陽中学校の生徒が多い。